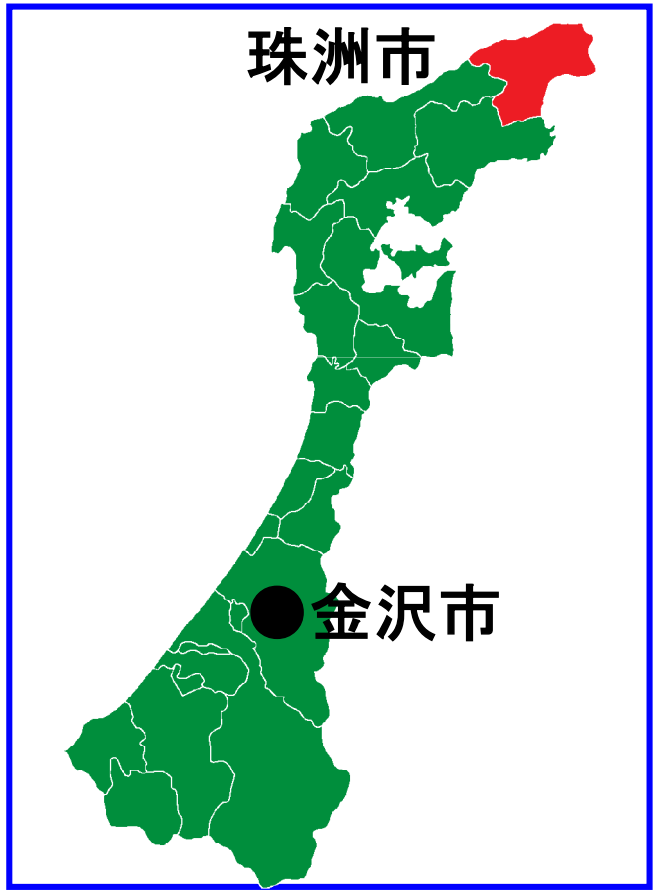
「能登半島先端」で
これからの地域公共交通を探る

平成24年9月26日

珠洲市地域公共交通活性化協議会

■はじめに



奥能登と呼ばれる能登半島の先端。

日本でも有数の交通が不便な地域。

こんな奥能登の珠洲だからこそ、里山と里海、そして伝統的な暮らしがたくさん残る。

日本初、世界農業遺産認定
（2011年6月）

能登の里山里海

Noto Peninsula
能登半島

Satoyama
里山地域

（About 60%）
約6割

里山

人の暮らしと農林業の営みにより形成されてきた地域

里山里海

農林水産業中心
自然と調和した人の暮らし

里海

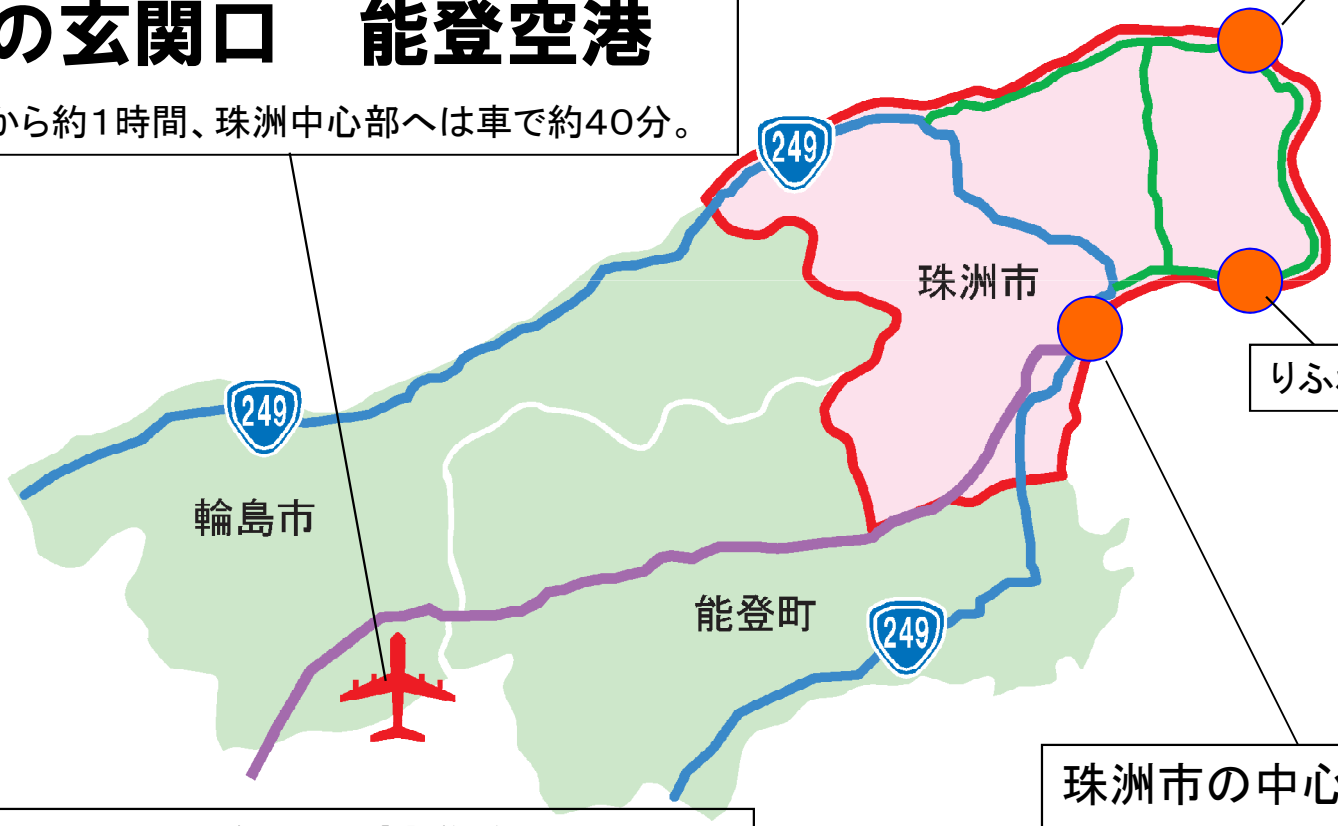
人の暮らしと深いつながりを持つ沿岸海域

■珠洲市の概況

◎市制施行時人口　38,157人（昭和29年）
◎現在人口　16,778人（平成24年3月31日）
　世帯数／6,438世帯　高齢化率／ 40.6%。

能登半島の最先端
禄剛崎
海から昇る朝日と海に沈む夕陽が
同じ場所から見られる場所。

空の玄関口　能登空港
東京から約1時間、珠洲中心部へは車で約40分。



りふれっしゅ村　鉢ヶ崎

陸の玄関口　能登有料道路
金沢から珠洲まで、車で約2時間。

珠洲市の中心部　飯田
商店街官公署などがある。

■珠洲市の人口動態

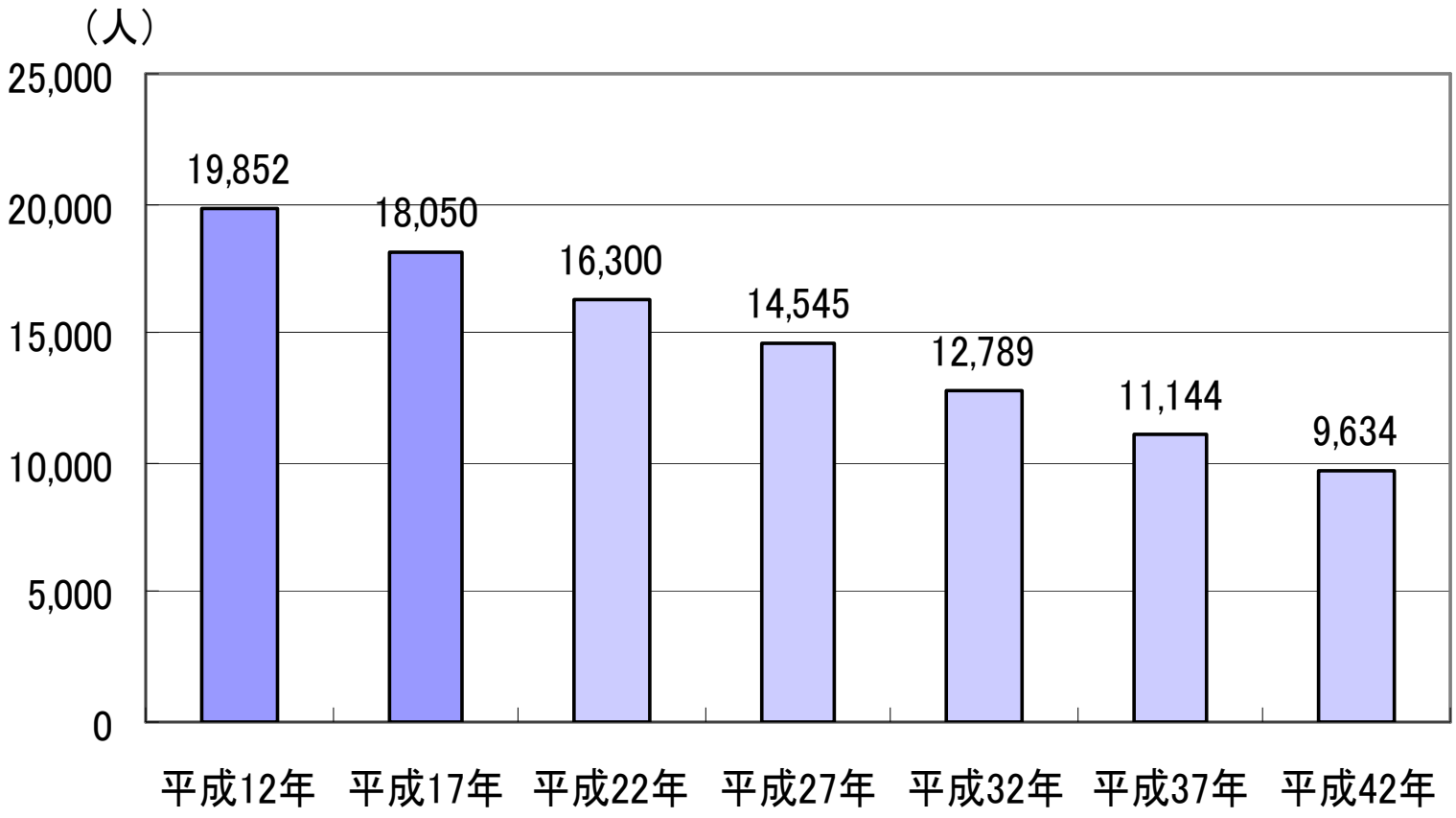
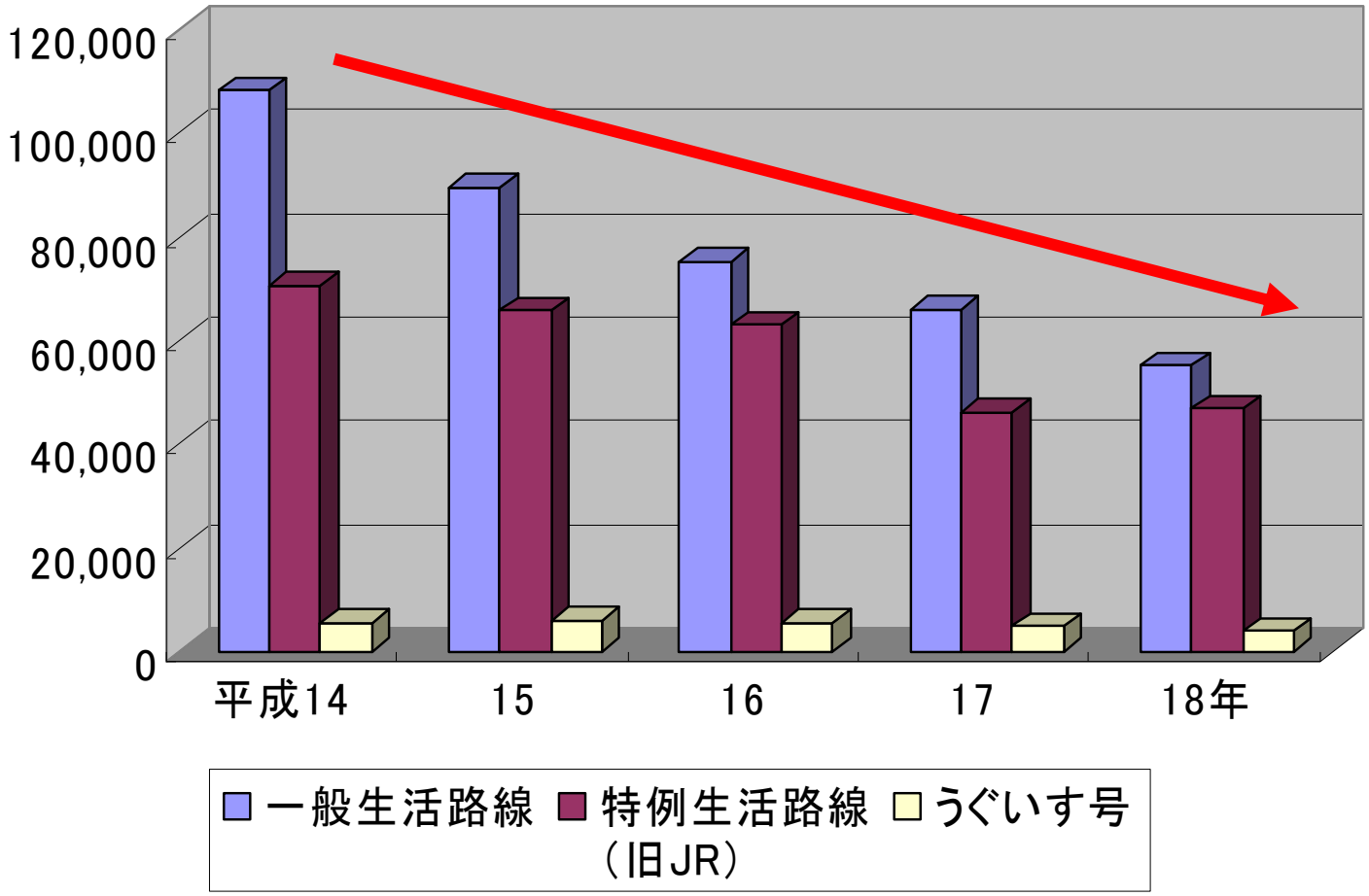
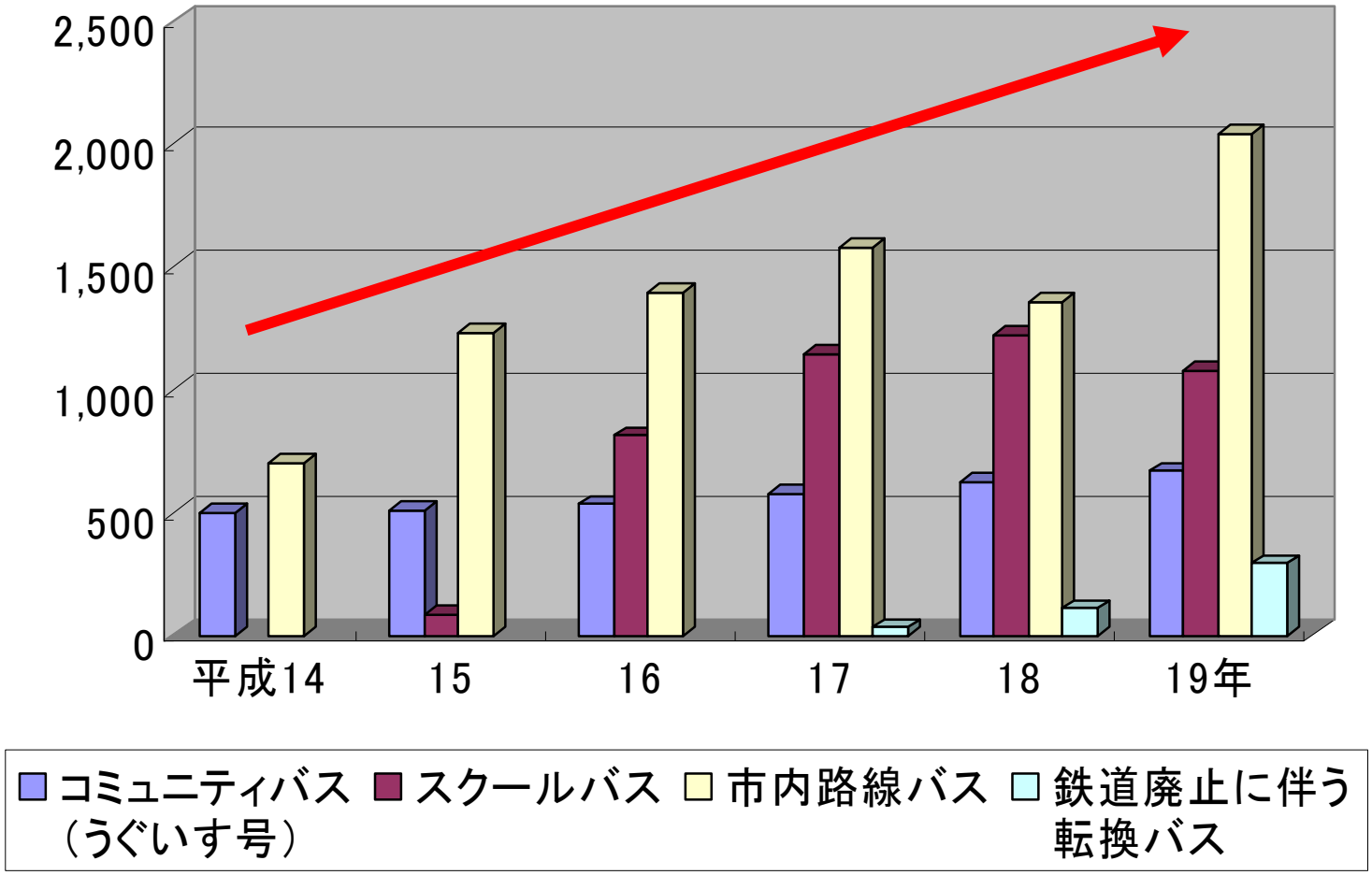


図1-1-3. 人口推移の予測（資料：国立社会保障・人口問題研究所）

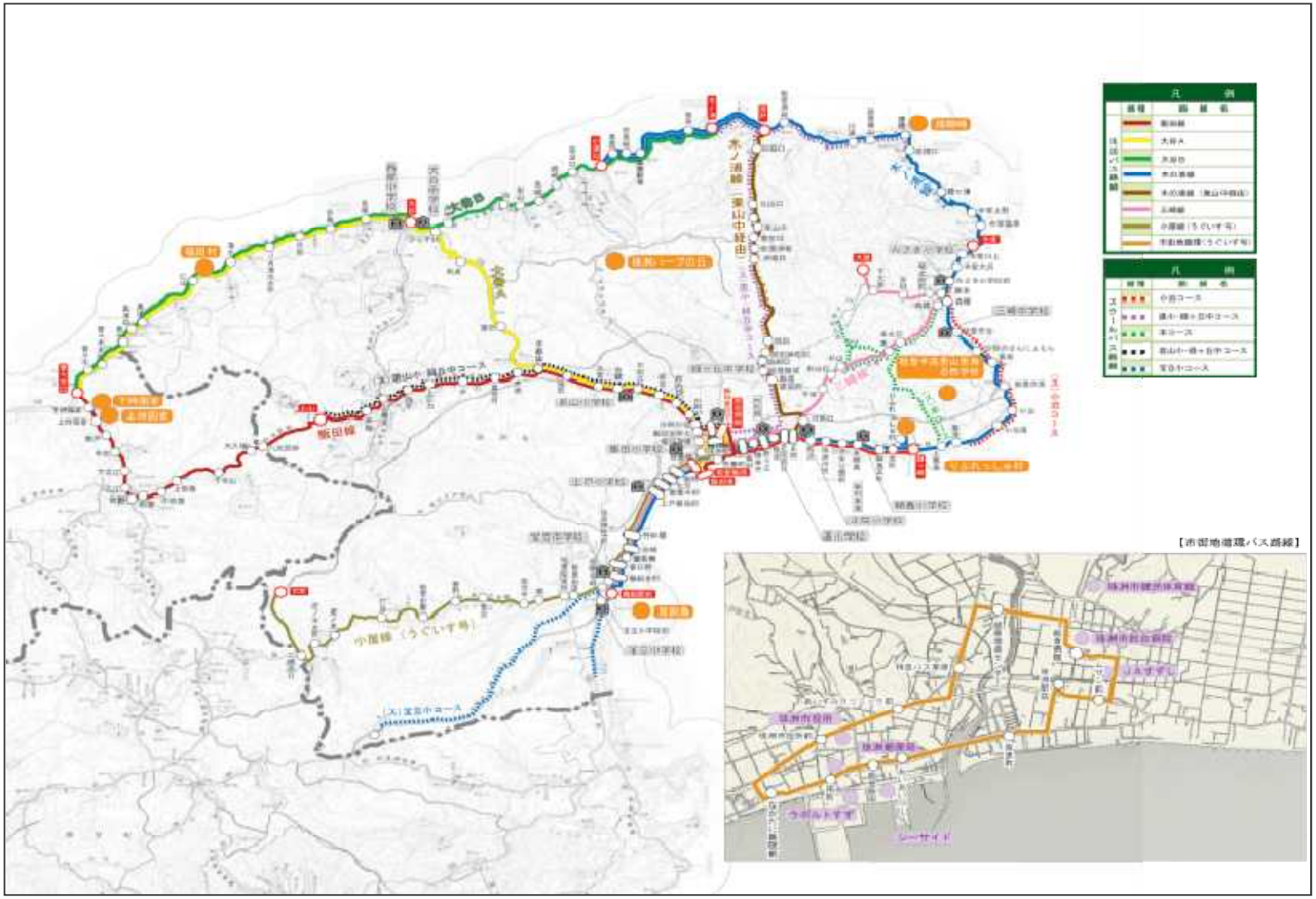
■　公共交通の現状（利用者数）



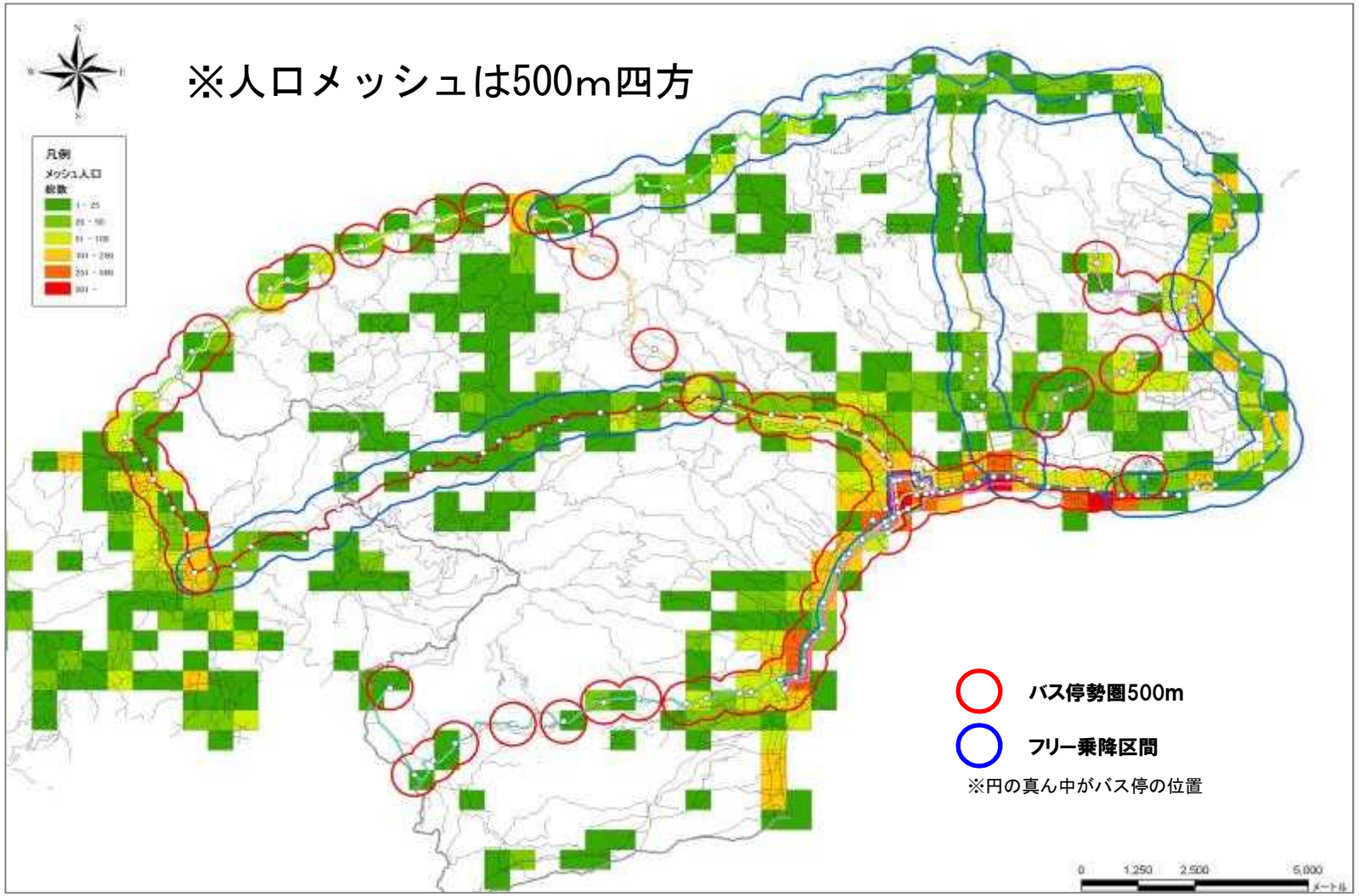
■公共交通の現状（運行支援の額：万円）



■公共交通の現状（路線図）



■公共交通の現状（空白地域）



■地域を支える新たな「しくみ」を求めて

●公共交通活性化総合連携計画の策定に着手

平成19年　7月　珠洲市地域公共交通会議を設置

- ・空バスが多い、スクールバスとの重複（効率化）
- ・乗り換え時など路線網（系統）がわかりにくい
- ・交通空白地帯の解消（高齢化に伴う需要増）

- ・施設の統合・廃止により移動距離が拡大（広域移動）
- ・H27春の北陸新幹線金沢開業などへの対応

平成19年10月　珠洲市地域公共交通活性化協議会を設置し、
運行実験を導入した本格見直しを開始

■活用した主な事業は・・・・

○ソフト事業として・・・

地域活性化・再生総合事業（H19～H23）

地方の元気再生事業（H20～H21）

○ハード整備事業として・・・

まちづくり交付金事業（H20～H21）

■活性化・再生総合事業（H19～H23年度）

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
1）地域公共交通総合連携計画	●	●			
2）おでかけバス券導入実験		●	●	●	●
3）おかえりバス運行実験		●			
4）市街地循環線の効率的な運行			●		
5）のりタク運行実験			●	●	●
6）里山バス運行実験			●	●	
7）スクールバス三崎線				●	●

2）おでかけバス券導入実験

平成20年度　9月1日～9月12日

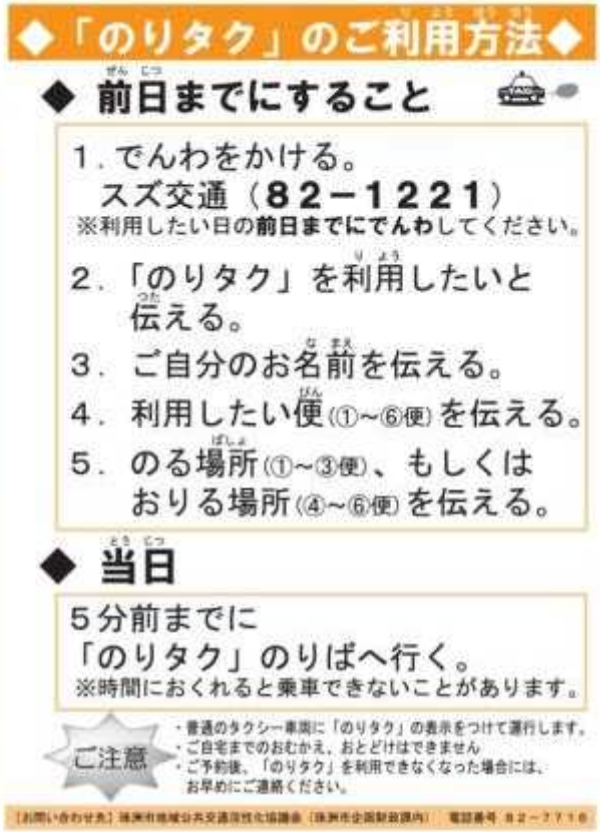
平成21年度　12月20日～1月31日

平成22年度　12月20日～1月31日

新聞折り込みチラシ

平成23年度も同時期に実施

5）①のりタク運行実験



案内チラシ

7）スクールバス三崎線

（5）スクールバス活用による三崎地区の運行実験（案）

概 要

・三崎線ダイヤの見直しにより廃止された便をカバーし、住民生活の足を確保する。

・みささ小学校のスクールバスを活用する。朝の通学時間帯のスクールバスの運行後、車庫へ戻るまでの時間を利用して運行する。

・このため、三崎地区とスクールバス車庫までの間の区間の運行とする。

① ルート案

・三崎線と同じルート上を運行するが、運行区間は、**「大屋－珠洲病院経由－飯田高校下」**とする。

② ダイヤ案

・みささ小学校の朝の通学スクールバスの運行後、車庫へ戻るまでの時間を利用して運行する。

・三崎線ダイヤの見直しにより、**廃止された便（大屋発 8:00）と同じダイヤ**とする。

大屋	粟津	本北口	杉山	正院	総合病院	飯田高校下
8:00	8:05	8:09	8:12	8:20	8:28	8:30

③ 料金案

・三崎線と同じ料金設定とする。

大屋	粟津	本北口	杉山	正院	総合病院	飯田高校下
¥0	¥190	¥280	¥330	¥420	¥480	¥480

④ その他

・バス停は三崎線のバス停を使用する。

■地方の元気再生事業（H20～H21年度）

■地方の元気再生事業による取組

【H20年度】

1）バスボランティアサポートプログラム（B－VSP）の実施
2）市民交流バスの運行実験
3）まちなかデマンドバス運行実験
4）バス利用促進キャンペーン
5）まちなかバス料金割引実験
6）ふるさと再発見バス試行運行
7）市民フォーラムの開催

【H21年度】（能登町と連携で実施）

6）ふるさと再発見バス試行運行
8）ふるさとバス運行実験
9）奥能登青春バス運行実験
10）公共交通を考える学習会

１）バスボランティアサポートプログラム（Ｂ－ＶＳＰ）の実施

ボランティアによる
バス待合所設置活動の様子

●地域や団体でバス待ち環境を改善する活動を支援（5団体と協定）

・3集落（バス停建設、修繕、清掃）

・ローターアクト（ベンチ設置）

・高校生（バス停清掃）

4）バス利用促進キャンペーン

利用促進キャッチフレーズ優秀賞のステッカー

8）ふるさとバスの運行

●連携事業

奥能登広域交通体系の運行イメージ

■まちづくり交付金事業（H20～H21）

道の駅すずなり

店内の様子

商品開発され売られている製品

←ジャム

塩ぽん酢→

マスタード

塩サイダー

はちみつ

■その他の取り組み

1）ふるさと雇用
・すずなりタクシー（H22～23年度）
2）広域圏（過疎交付金）（H22年度）
・ふるさとバス
・遊たくん
・乗り継ぎ時刻表の作成
3）ソフト事業（資料省略）
・H22年4月から　高校生通学費補助事業
・H22年4月から　免許証返納支援事業
・H23年4月から　福祉タクシー利用料金助成事業
4）ハード整備（資料省略）
・H21年度　観光交流拠点施設「すずなり館」および
バスロータリーの完成（まちづくり交付金事業）
・H21年度　市営バス車両（日野ポンチョ）を購入
（地域活力基盤創造交付金事業）
・H22年5月　バス駐車場完成
・H23年2月　バス管理棟完成

1）ふるさと雇用

乗合 すずなりタクシー

予約制乗合「すずなりタクシー」運行開始！

珠洲市内全域と**すずなり館**をむすびます。

平成22年10月1日（金）～平成24年3月31日（土）まで（予定）

期間中 毎日運行

● まずは電話でご予約ください

0768-82-1153 スズ交通

（前日午後5時までにお電話を！ 予約をしないとご利用できません）

● 1日2往復（行き2便・帰り2便）

行き便 すずなり館着　7:00、 9:50

帰り便 すずなり館発 13:10、18:00

● 運賃 1回乗車あたり **800円均一**

★ご注意

・乗り合いになりますので、運行経路は運行事業者におまかせください。
　また、お客様からお迎えにあがるお時間を指定することはできません。
・幹線道路からはなれた場所については、直接送迎できないことがあります。
・途中、同乗されるお客様の乗り降りする場所に停車しながら運行します。

運行主体：スズ交通株式会社　／　協力：珠洲市地域公共交通活性化協議会
お問い合わせ先 0768-82-1153（スズ交通株式会社）

こんなにも便利！

◆路線バスのない地区の方も利用できる
　新しい公共交通です。
◆すずなり館から
　すずらん号（市街地循環バス）
　にのりかえれば、**＋100円で市街地へ**！
◆金沢とむすぶ**特急バスの時間**にも
　ぴったり！ 金沢へ出かけるときに便利です。

珠洲特急時刻表（すずなりタクシーと接続）
〈金沢行〉 すずなり館発 7:14、10:04
〈金沢発〉 すずなり館着 13:01、17:51

２）奥能登広域圏事業
（過疎地域等自立活性化推進交付金事業）

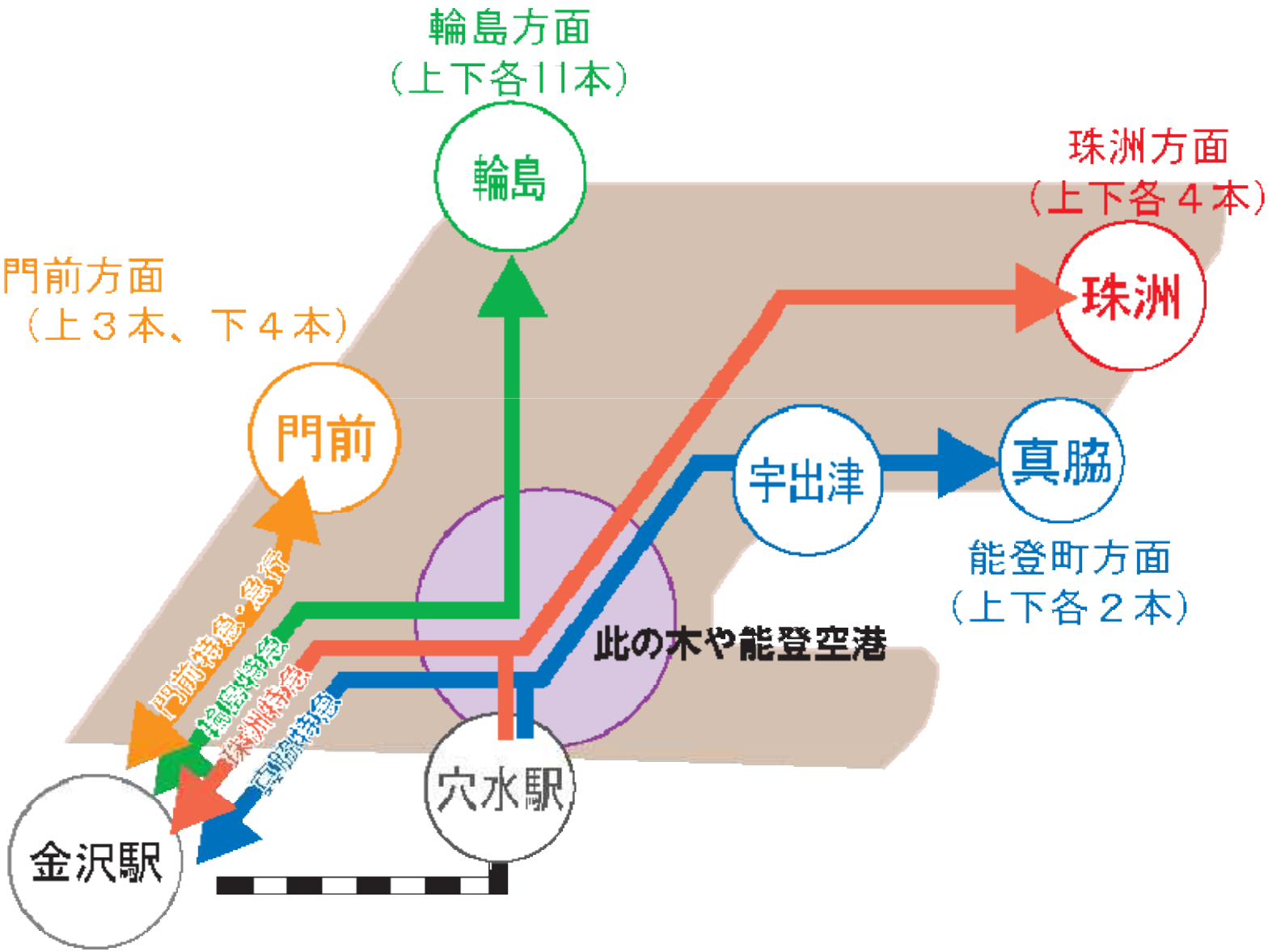
①奥能登地域の移動ニーズ調査の実施

②公共交通の活用最大化作戦

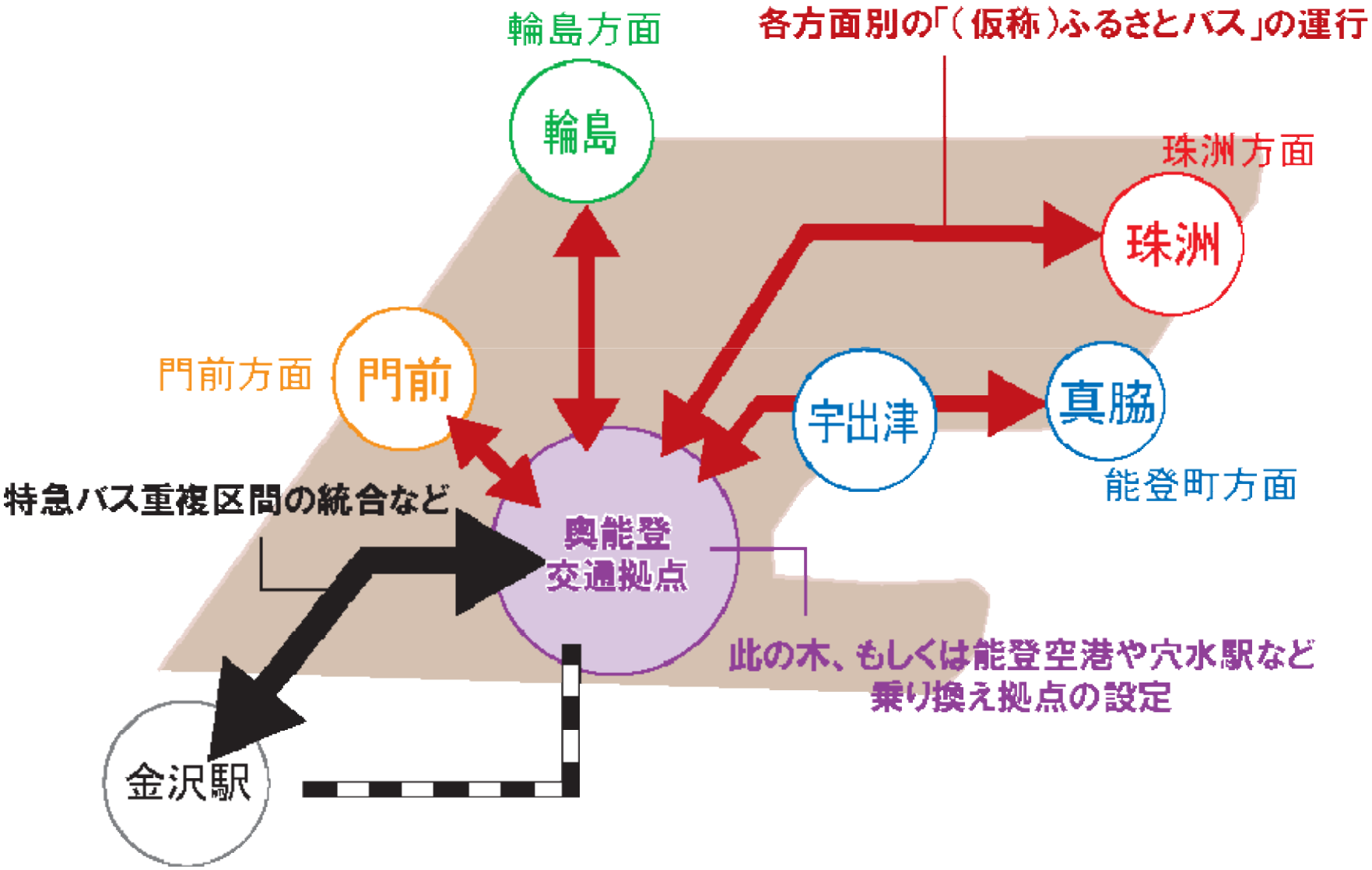
③奥能登広域公共交通補完実験
（ふるさとバス運行実験）

④奥能登周遊バスの運行実験

3）新たなバス交通のハブ施設の検討（原状）



3）新たなバス交通のハブ施設の検討



■市民アンケート結果（H19年度との比較）

① 加速　～進むバス離れ～

Q．家族の中にバスを月数回以上使う人はいるか？

●いる（H19）

37％（約3、100人）

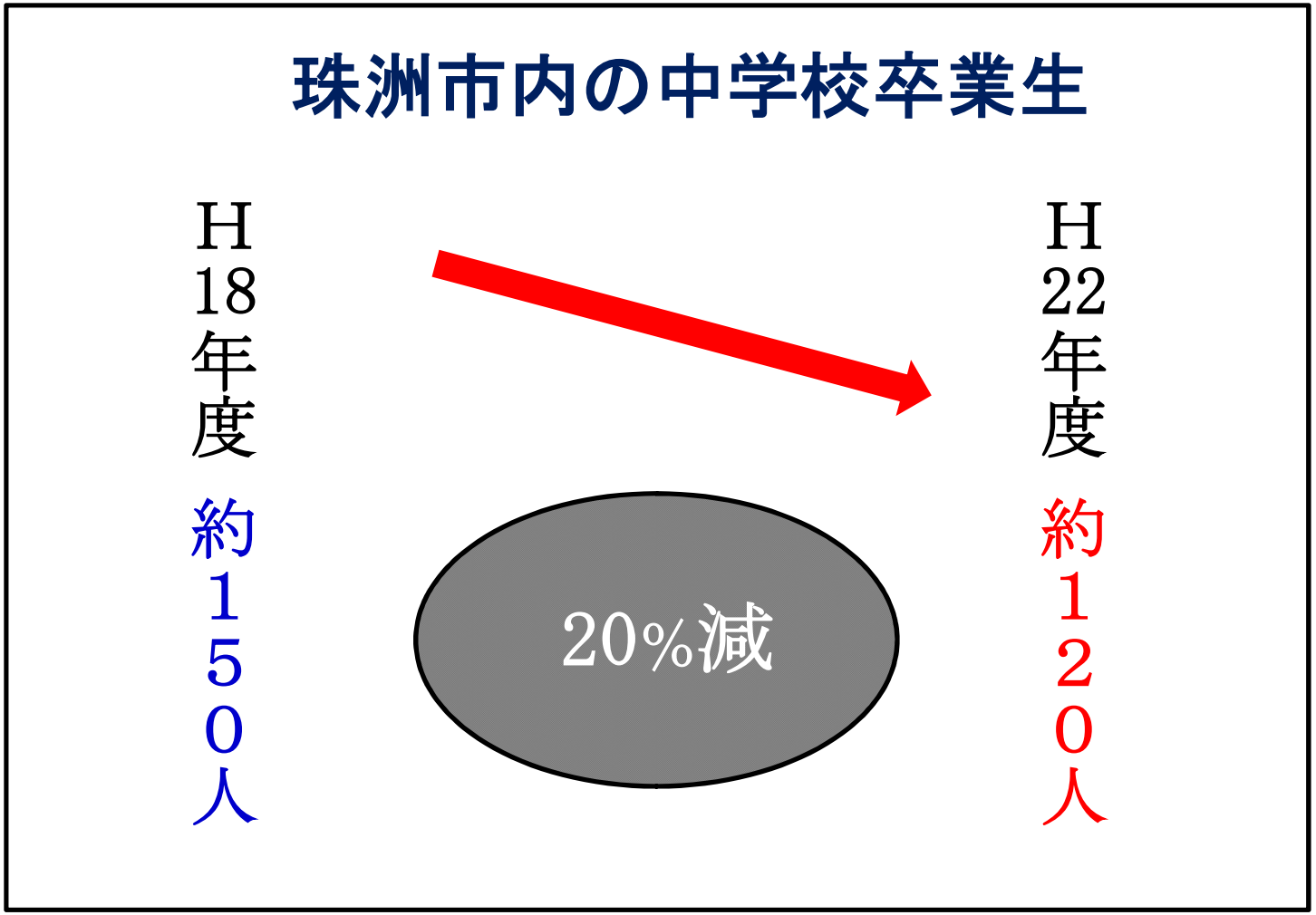
●いる（H24）

27％（約2、100人）

4年で
1,000人減

利用者減の一つの要因

◆高校生による利用の減少



② 不安　～車の運転が不安材料～

Q. 自動車の運転に不安を感じるか？

【結果】
●現在すでに不安を感じている　　６％
●将来の運転に不安を感じている　５１％

約６割が
運転に不安を
感じている

年間の免許証返納者数

H21	７人
H22	４２人
H23	４７人

■過疎地域を支える新たな「しくみ」のためには・・・

①地域が支える過疎地域交通の“しくみ”を創る。

◇新たな運行主体（集落・NPO、新規参入事業者など）

◇運行路線の効率化（重複路線解消、ダイヤのスリム化）

◇高齢者の移動手段確保（交通空白地帯への対処）

②“しくみ”を支える「人材」「関係者」の醸成

◇自治体職員のスキルアップとドライバー人材の確保

■過疎地域を支える新たな「しくみ」のためには・・・

③過疎地域の公共交通に対する行政の姿勢

◇地域交通における“費用（C）”と“便益（B）”
　の“便益”とは・・・・・？
　・効率性、採算性だけでは評価できない。

住民への“福祉施策”という視点

純民間事業から「新たな公共」の概念での対応へ

ご静聴ありがとうございました。

石川県　珠洲市

珠洲市地域公共交通活性化協議会